

投資事業評価調書（継続）

部課室名	県土整備部土木局 港湾課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	高崎 伸彦 (平井 住夫)	内線	4 4 4 0 (4 4 5 2)
------	-----------------	---------------------	------------------	----	----------------------

事業種目	事業名	事業区間		総事業費 (完了済の新第二閘門基を含む)	約295億円 (487)
		高潮対策事業	尼崎西宮芦屋港海岸		
所在地		事業採択年度	現地着工年度	完成予定年度	進捗率
尼崎市東海岸町～西宮市西波止町		H 5 (S61)	H 5 (S61)	H 18	81% (88%)

事業目的	事業内容
<p>昭和25年のジェーン台風による高潮の惨禍を契機に、旧閘門は高潮防潮機能と船舶通行機能を併せ持つ閘門式防潮堤として、昭和26年から昭和39年にかけて整備したが、この閘門も老朽化し、鋼材の腐食、臨海部特有の地盤沈下により高潮や波浪等に対する防護機能が著しく低下した。</p> <p>このため、昭和61年度から新たに改良工事に着手した新第二閘門1基は平成5年度に完成した。引き続き平成5年度から2基目の新第一閘門整備に着手するとともに、閘門等の集中制御と多数の点在する陸閘・樋門を集中監視する集中コントロールセンター整備及び陸閘・樋門の電動化・遠方監視化などにより開閉作業の迅速性・確実性を向上させ、海岸保全施設全体の防災機能の高度化と安全性の向上を図るものである。</p>	<p>閘門 [改良] 1(2) 基 [集中コントロールセンター1式、防潮堤163m、緑化整備他含]</p> <p>陸閘・樋門 [改良] 66 基 [内電動化33基]</p> <p>()内は完了済の新第二閘門1基を含む数値</p>

進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・閘門(改良)は平成5年度に2基目の閘門整備に着手し、閘門本体が平成13年度末に完成、続けて閘門に接続する防潮堤や集中コントロールセンター等の整備を行っており平成16年度末に完成予定である。平成17年度には周辺の緑化整備を行い全体の完成を図る。 ・陸閘・樋門(改良)は平成15年度には全数33基の電動化が完了予定である。また尼崎は平成16年度、西宮は平成18年度に各施設の端末と集中コントロールセンターを光ケーブルで接続し、閘門を含む防潮施設の管理の一環として集中管理システムを完成させる。
------	--

評価視点	評価結果の説明
------	---------

(1)必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・当地域はセトール地帯を抱え満潮時には浸水するため、内港の水位を低く保つ必要があるが、旧閘門は築造後約40年が経過し、鋼材の腐食と臨海部特有の地盤沈下により、高潮や波浪等に対する防護機能が著しく低下しており、新閘門の早期改良が求められている。 ・当海岸は多数かつ点在するゲート類に対して、高潮等の緊急時の開閉作業、確認等に多大な労力を費やしており、迅速性・確実性を向上させる必要がある。
安全・安心	
地域の活性化	
快適性・ゆとり	<ul style="list-style-type: none"> ・閘門等はセトール地帯を守る防災機能に加えて、内外の潮位差を解消し、内港を利用する船舶の出入を可能とする物流機能を確保し、阪神地域の産業発展に寄与する。 ・小学生を中心に年間約千・2千人が閘門見学に訪れ、防災意識の向上に寄与しており、今後集中コントロールセンターを利用した防災体験学習の場や緑化整備により、更に訪問者増が見込まれる。

(2)有効性・効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・費用便益比 B / C = 21.5(19.3) ・高潮等からセトール地帯を防御する防潮機能と船舶通行を可能とする物流機能を併せ持つ閘門並びに閘門周辺の防潮堤を一体的に整備することで海岸保全施設全体の安全性が高まる。 ・陸閘、樋門の開閉作業を電動化し、開閉状況を集中コントロールセンターで一括して確認可能となり、操作や開閉状況確認に係る時間が短縮でき、迅速性・確実性の向上から施設管理全体の安全性が高まる。
有効性	
効率性	
(3)環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> ・内港を利用する地元企業等との調整により、円滑な事業執行環境が整っている。

(4)優先性	<ul style="list-style-type: none"> ・閘門周辺の緑化整備により自然環境に配慮する。 ・陸閘樋門の改良については、既存施設を大きく改変することがないため、環境や景観に与える影響は少ない。
--------	---

再評価結果	継続	左の理由	上記の理由により継続が妥当である。
-------	----	------	-------------------